

# 東光寺たより 51

## 稲葉山城へと

稲葉山城の麓のお寺さんの行事への加担はもう 20 年近くになります。此度も声を掛けてもらい尺八を吹いてまいりました。最初の頃は長い尺を吹くなあと考えていたのがここ最近は短い感じに思えてきてなりません。ご縁を結ばせてもらって長い年月が経つのですが、実際はあつという間の月日・・・途中コロナで中断していた時期も有りましたが。とにかくにも今年も難有くお邪魔する事が出来たなという実感が強かったのが正直なところでした。感謝



## どの花見ても綺麗だな 🌸

花を愛でる事が好きな檀家さんのお庭の様子です  
この時期は梅に目が行きがちですが視線を下に向けるとしっかりと着実に花を咲かせている世界が有る事に気づかされます。この先も綺麗な花を咲かせて家主さんを見守ってたもれと願う住職でした♪



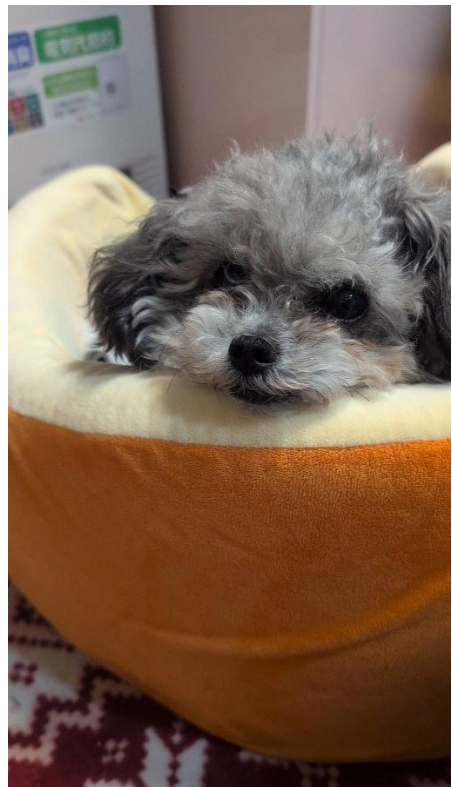
## 百花春至爲誰開

百花春至って、誰が為にか開くと読みます。花がただ自分の生命の赴くままに咲き、誰のためでもないという無心の姿を表現しています。ですが、誰かの心を和ますもしくは勇気づける、そんな役割が有っても良いと住職は思います。誰の眼にも止まらずひっそりと咲く花も綺麗ですが、人の心を和ます花も綺麗です。そんな綺麗だと気付く、和む自分の心が綺麗なのです。そんな景色を見てハッと気づく自分自身であれと切に望むのでした。



## そうちゃんのベッド新調しました♪

ボクにベッドが届いたんだ。嬉しいな。ありがたく使わせてもらうんだワン 🐶



## 新しいベッドは気持ちいいなあ



## 先人から受け継ぐ物♪

町内は北方神社において2/17前後に“とりのこ祭”という伝統行事が有りまして、江戸時代の凶作時に飢えに苦しむ農民を救うために庄屋さんが鳥の卵にみせたおにぎり（とりの子）を配った故事に由来し今現在は五穀豊穡、無病息災を祈念する祭へと至っているそうです。その当時のお百姓さんは米が食べれなかったそうで以前から何気なく、この祭の存在は知っていましたが、檀家さんの何代か前のご先祖もこのプロジェクトに携わったと教えてもらい、この機転と申しましようか？なんとかせねばという思いを少しでも感じ取るべく当山のたよりに書いてみました。尚、おむすびは俵の形にも似ていますね。今後は2/17が近づく度に、学びが深まり、更に祈りを捧ぐ住職でした。



## 教区の布教講習会に参加しました♪

当山副住職が2/17、18両日の渡り岐阜市内のホテルパークに於いて表記の講習会に参加して発表し学びを深めてまいりました。副住職が日頃感じている恩や義理を禅語を通じて発表し、評価を受けて今後の活動に繋げていく事を願って・・・いや繋げていく事必至です。



## 谷汲踊りを観てきました♪

近所の古刹“華厳寺”では2/18に表記の踊りを奉納するというので行ってきましたというのは嘘でたまたま、お参りに行ったらその日だったので観てまいりました。壇ノ浦の戦いの勝利を祝って源氏が躍ったのが始まりで以降、雨乞いや豊年踊りとニュアンスを変えながら現在に至っています。今年は30年に一度の少雨と叫ばれる為、恵みの雨が該当地区に降り注いでほしいと願う住職でした。

